

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月26日

計画の名称	鈴鹿市における生活環境の向上（重点計画）													
計画の期間	令和０５年度　～　令和０８年度（４年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	鈴鹿市													
計画の目標	下水道整備をすることにより、自然環境を保全するとともに、安全・安心、快適な暮らしを実施し良好な生活環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		5,660	A	5,660	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R8末
1	下水道処理人口普及率を62.6％（R5）から67.5％（R8）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	62％	％	67％
	= 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿北部処理分区（未普 及解消）	面整備 A=7.57ha	鈴鹿市	■	■	■	■		349	1.8	-
	A07-002	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿西部処理分区（未普 及解消）	面整備 A=15.80ha	鈴鹿市	■	■	■	■		135	1.8	-
	A07-003	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿南部処理分区（未普 及解消）	面整備 A=48.95ha	鈴鹿市	■	■	■	■		2,310	1.8	-
	A07-004	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	鈴鹿南部処理分区（南部 污水幹線）（未普及解消 ）	污水管 φ 300～400mm L=1682 m	鈴鹿市	■	■	■			920	1.8	-
A07-005	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	玉垣処理分区（未普及解 消）	面整備 A=26.12ha	鈴鹿市	■	■	■	■		895	1.8	-	
A07-006	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	野町処理分区（未普及解 消）	面整備 A=21.47ha	鈴鹿市	■	■	■	■		325	1.8	-	

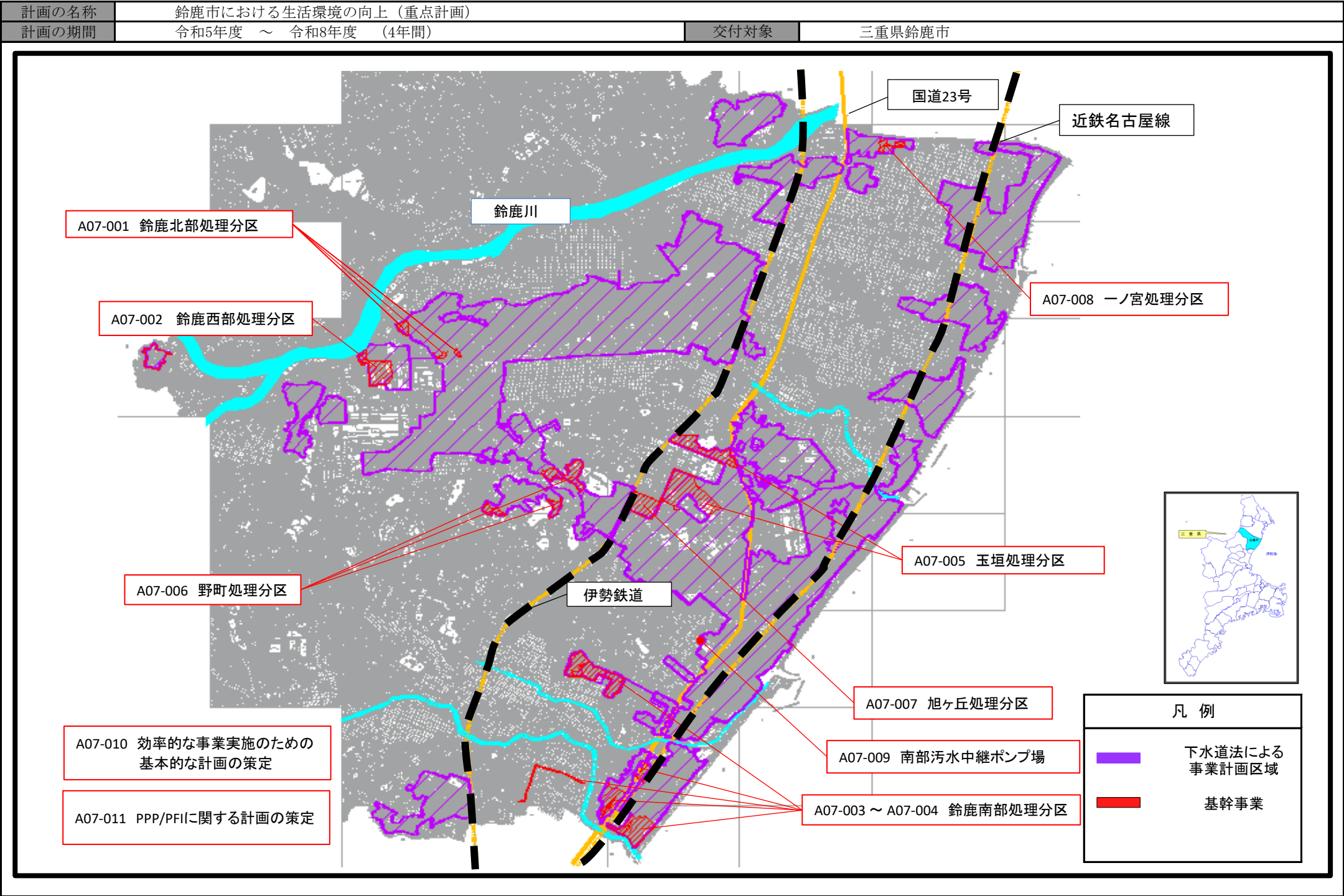
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	旭ヶ丘処理分区（未普及 解消）	面整備 A=16.28ha	鈴鹿市	■	■	■	■		468	1.8	-
	A07-008	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 污水）	新設	一ノ宮処理分区（未普及 解消）	面整備 A=2.18ha	鈴鹿市	■	■	■			43	1.8	-
	A07-009	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	ポンプ 場	新設	南部污水中継ポンプ場ボ ンプ増設工事（未普及解 消）	ポンプ 1 基（φ 200 × 3.9m3/m in）	鈴鹿市	■					80	1.8	-
	A07-010	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	-	-	効率的な事業実施のため の基本的な計画の策定	計画策定	鈴鹿市		■	■	■		65		-
	A07-011	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	-	-	PPP/PFIに関する計画策定	導入可能性調査・発注支援業 務等	鈴鹿市		■	■	■		70		-
											小計						5,660		
											合計						5,660		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	524				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	524				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	240				
翌年度繰越額 (f)	284				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

図面（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 鈴鹿市における生活環境の向上（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 流域関連鈴鹿市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 4) 各種事業計画が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果が得られるものとなっている。	○

[illegible]